



▼各所で思い出話の花が咲く。青森、岩手、新潟、和歌山、鹿児島からの参加もあった

# トヨタ東京自動車大学校 第5回同窓会総会を開催

は累計で2万4575名となった(17年3月末現在)。今回の出席者では昭和33年卒業の小出隆夫氏が最古参。また、現在の地、八王子への校舎移転(昭和46年)を機に、全国初の2級整備士養成課程がスタート。その第1期生で「1組・1番」だった朝岡善紀氏が和歌山県から出席した。このお二人が同窓生を代表してスピーチし、「立川での試験の後、八王子の新校舎を見学させてもらい、立派な校舎を見てここで勉強したいと思った」(朝岡氏)と、当時を懐かしんだ。

◀今回の最古参会員、小出氏

◀第1期・1組・1番、だった朝岡氏



専門学校トヨタ東京自動車大学校(松浪良樹校長)の第5回同窓会総会が7月11日、八王子市の同校で開催され約200名の同窓生が出席し旧交を温めた。同窓会総会は5年ごとに開催され、これまで校外の施設を会場としていたが、近年は校内サーキットやスマートモビリティ棟、西キャンパスの開設等、施設の拡充が著しい校内での開催となり、総会終了後は希望者に校内見学ツアーも開催された。

冒頭挨拶に立った同窓会名誉会長の松浪校長は「18歳人口の減少や大学進学率向上、若者のクルマ離れ等、毎年工夫を重ねる。」

## 支部開設 さらなる活動活性化へ



挨拶をする松浪校長

▶矢島新会長(中央)と10名の同窓会役員



に創設され、今年が創立63周年にあたり、卒業生

ある歴代のエンジニアウエア



ねて募集活動を行っているが近年は定員を下回る状況。今後の母校発展のためにも入学希望者の紹介等、さらなるご支援をお願いいたします」と同窓生の協力を仰いだ。総会では役員改選が行われ、2期10年務めた杉孝喜会長(昭和43年卒)に代わり、矢島一豊新会長(同55年卒)が選出された。また、地域ごとの同窓会会員の親睦や相互扶助、母校の後援等を目的として、県単位の地域ごとに支部を設けられるよう会則が改正された。同校は昭和29年に東京・立川